

「地域密着型金融推進計画」に関する進捗状況について

平成17年12月15日

金沢信用金庫

金沢信用金庫（理事長 村田 武）が平成17年8月に発表しました地域密着型金融推進計画の進捗状況についてご報告いたします。

「事業再生・中小企業金融の円滑化」について

創業・新事業支援機能等の強化では、創業支援商品である「新進企営」の融資案件を認定する機関として、新たに「サポートデスク委員会」を本部に設置しました。その結果、「新進企営」の実績は10件、創業・新事業に対する融資実績合計は34件となりました。また福祉医療機構や中小企業基盤整備機構とベンチャー企業向け業務に係る業務連携強化を図りました。

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化では、ビジネスマッチングの新しい取組みとして当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を開催、出展企業・団体138社、フェア参加者約2,800名、商談件数約1,688件、成約件数106件と予想を超える成果がありました。来年度以降も継続してビジネスフェア開催を予定しています。

要注意先債権の健全債権化では、本部の「経営支援室」に中小企業診断士（金庫内）1名を増員し組織の強化を図ったほか、外部の経営コンサルタント会社と提携を継続し、企業支援対象先139先の経営改善に積極的に取り組んでいます。

事業再生では、RCC債権の肩代り融資が4件の実績で、うち中小企業再生支援協議会等の機能を活用した先が3件ありました。また、その中には加賀温泉旅館への取組みもありました。今後も外部機関との連携を強化し、再生支援に積極的に取り組んでいきます。

企業の将来性や技術力を的確に評価できることを目的とした人材育成では、「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格取得のため、外部講師による経営改善セミナーを開催し22名が受講しています。また企業訪問による実務研修、業種別経営支援講座の受講を通して「目利き」能力の養成に努めています。

「経営力の強化」について

リスク管理態勢の強化では、各種リスク量の検証を行っており、統合リスク管理の構築に向けたデータ整備を実施しています。特に信用リスク管理においては、与信ポートフォリオ分析に成果が見られ、適切な運用を図っています。

収益管理態勢並びに収益力の強化では、お客様の経営改善を推進しており、対象先のランクアップに取り組んでいます。また、収益管理態勢の強化では、企業格付、倒産確率、新収益管理システム等の導入のための検証、分析を実施しています。

ガバナンスの強化では、総代氏名のディスクロージャー誌への開示にあたり、個人情報保護法に留意し「利用目的の同意」を得ることができました。

コンプライアンス態勢の強化では、代表役員が全営業店を半期に一度訪問し、役職員間のコミュニケーションを通して直接指導を行いました。また、各種研修、臨店指導の実施等により職員のモラルの向上とルールの徹底を図っています。

ITの戦略強化では、次期システム導入に向けたプログラム開発・検証、並びに職員研修等を実施し、万全な体制で取り組んでいます。

「地域の利用者の利便性向上」について

地域貢献等に関する情報開示では、環境に関する基本理念、基本方針を「環境方針」として公表しました。それに基づき、金融サービスとしてISO認証取得の仲介業務内容を開示しました。

地域のお客様満足度を重視した金融サービス提供では、「ご意見箱」「目やす封書」に寄せられたご意見を職員に開示し、業務改善に取り組んでいます。

地域再生推進のための各種施策との連携では、商工（会）会議所等との提携ローン取扱いを実施し、積極的に地域の活性化と再生に取り組んでいます。

以 上

【大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題】

金沢信用金庫

大項目	進捗状況及び進捗状況に対する分析・評価	今後の課題
①事業再生・中小企業金融の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業・経営革新支援については、34件326百万円の実績がありました。そのうち創業・新事業支援商品の「新進企営」を積極的に取組み10件57百万円の実績がありました。 ・ビジネスマッチングの推進については、「きんしんビジネスフェア2005」を開催し、商談件数1,688件と予想を超える成果に繋がりました。 ・RCC債権譲渡先への再生支援については、4件の再生に取組みました。うち、中小企業再生支援協議会等と連携した先は3件でした。 ・人材の育成については、「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格取得のため、外部講師による経営改善セミナーを開催し22名が受講しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業支援機能の強化に向け相談機能の強化、審査能力の向上に努め、創業者への支援をより一層図ります。 ・ビジネスフェア出展者には、今後も継続的にフォローアップ、モニタリングを行い、ビジネスマッチング活動を定着させていきます。 ・再生可能と判断される先については、外部機関と連携し再生支援に積極的に取組みます。 ・経営改善セミナーでは、各自の取組み企業の改善計画書を策定しています。今後、講師による受講者への積極的な指導を行い、経営改善の支援能力を高めていきます。
②経営力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理態勢の充実については、各種リスク量の検証を進めています。特に信用リスクは、ポートフォリオ分析の検証に成果が見られ、適切な運用を図っています。 ・ガバナンスの強化については、総代会における総代氏名の開示にあたり、個人情報保護法に留意した手続きを完了しました。 ・コンプライアンスの態勢強化については、代表役員による営業店直接指導、継続的な研修等により、モラル・ルール遵守を徹底しています。また、個人情報保護に関する安全管理態勢は概ね整備を完了しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合リスク管理は、まだ試行段階にあり、本格的導入に向け分析・検証を進めます。 ・「会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の施行に伴う信用金庫法の改正により、総代会の議決権行使に関する手法の検討を進めます。 ・外部経営コンサルタントによる組織のチェックの準備を進めます。
③地域の利用者の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する基本理念、基本方針を「環境方針」として公表しています。金融サービスとしてISO認証取得仲介業務の内容を開示しています。 ・「ご意見箱」「目やす封書」については、お客様から寄せられたご意見を職員に開示し、業務改善に取り組んでいます。 ・商工（会）会議所等との提携ローン取扱いを実施し、積極的に地域の活性化と再生に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境方針」に基づくさまざまな金融サービス等の提供に努めます。 ・お客様満足度に関するアンケート（CS調査）を実施し、お客様のご意見をより経営に反映させる仕組みを構築します。 ・情報収集、情報交換を重ねながら各種提携ローンのトレースを行っていきます。

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

数値目標（平成17年・18年度）

項 目	目 標 値	進捗状況 (平成17年4月～9月)	備 考
創業・新事業支援 機能の強化	創業・新事業支援商品 「新進企営」の取扱い 20先 200百万円	取扱い実績 10先 57百万円	
要注意先債権の 健全化	企業支援先139先に対し 改善率30% (ランクアップ)		平成18年3月期 の自己査定結果 に基づき公表し ます。
事業再生に向けた 積極的取組み	RCC債権譲渡先の 再生支援の取組み 20先	再生支援実績 4先	
人材の育成	「経営支援アドバイザー」 資格取得者 総勢100名 養成		平成16年度迄の 資格取得者47名 平成17年度上期